

わが校のストップいじめアクションプラン ～ いじめの未然防止・早期発見・早期対応 ～

甲賀市立信楽中学校

命いきいき 心ひろびろ ～みんなが輝き若さあふれる『はつらつ信中』～

子どものアクション

- ◆生徒会のアクション
 - ・スローガンやポスター、意見箱を作成し、いじめ根絶運動を推進する。
 - ・全校集会で、いじめ根絶への呼びかけや意見発表等を行う。
- ◆クラスや学年のアクション
 - ・意見作文に取り組み、意見発表会を開催する。(クラス発表会→学年発表会→全校発表会)
 - ・人権作文や人権啓発標語に取り組み、学校・地域に啓発活動を発信する。
- ◆部活動のアクション
 - ・部長会を開催して、たて横の繋がりをしっかりと築き、生徒同士の望ましい人間関係を形成する。

家庭や地域と連携したアクション

- ◆PTAのアクション
 - ・1学期PTA期末集会で親子人権研修会を開催し、人権に関するやコンサートや講演、映画鑑賞を行う。
 - ・PTA広報誌「おやべん」で、人権研修会の内容や感想などを紹介する。
 - ・地区別懇談会でいじめに関する情報交換を実施する。また、集約結果や意見をPTA広報紙で紹介する。
- ◆地域のアクション
 - ・人権啓発標語を校区内に掲示し、人権啓発に取り組む街づくりをする。
 - ・教育集会所と連携して、学習会や校外研修を実施する。

教職員のアクション

- ◆「いじめを絶対に許さない」学校に向けての共通理解・共通実践を進める
 - ・年度当初に「信中中のストップいじめアクションプラン」を共通理解する。
 - ・いじめの問題に対する意識や実践力を高めるための研修会を行う。
 - ・生徒指導、教育相談の部会で情報交換を行い、共通理解をはかる。
 - ・教育目標に「思いやりのある心優しい生徒」と掲げ、教育実践を行う。
- ◆早期発見の体制づくり
 - ・教育相談の実施(1・2・3学期)
 - ・アンケートの実施(1・2・3学期)
 - ・毎日のライフノート点検からの発見
 - ・保健室やスクールカウンセラーとの連携
 - ・生徒指導だよりによるいじめ防止に関する呼びかけ

現状(課題)

- ◇いじめに対する教職員の感性を磨き続ける必要がある。
- ◇「いじめはいけない」と認識できる子どもが多いが、いじめを発見し行動化する力が弱いので、今後も努力が必要である。
- ◇小学校との連携(情報交換)が必要である。